資料2－2

戦略的創造研究推進事業における公募テーマの決定手順

●研究領域の責任者である研究総括が、当該領域の専門家である領域アドバイザーとともに評価を実施。

●選考過程では、申請者と利害関係にある評価者が評価に関らないよう配慮し、公正性を確保。

書類選考

○研究総括が全ての提案書類を読み、各領域アドバイザーの専門性・所属機関等を考慮して提案書類を振り分ける。（1提案につき2名以上）
○各領域アドバイザーは担当する提案書類について評価書類を作成。
○研究総括、領域アドバイザーが一堂に会し、各人が持ち寄った評価結果を基に総合的に議論し、面接対象者を選考。（採択予定数の2～3倍まで絞る）
○提案者に対し、選考結果を主な評価内容（不採択理由等を含む）とともに送付。

面接選考

○面接対象者は自らの研究構想、研究実施体制等について研究総括及び領域アドバイザーに対し、プレゼンテーションを行い、質疑応答。
○全面接対象者の面接が終了後、研究総括及び領域アドバイザーによる議論を行い、採択候補者を選考。

課題決定

○関係省庁と課題の重複調整を実施。
○ＪＳＴの理事会議にて採択課題を決定し、面接対象者に対し、選考結果を主な評価内容（不採択理由等を含む）とともに送付。

研究費当初予算額の決定

○研究代表者が作成する研究計画書を、研究総括がヒアリング等により精査し、研究領域全体の予算枠に収まるよう、各研究課題の当初予算額案を作成。
○プログラムディレクターが最終決定。
※以後、研究の進捗状況・評価結果に応じて、研究費額は柔軟に変更。